



九州圏広域地方計画に関するプロジェクト検討参考資料

説明図表

平成 2 7 年 1 0 月
九州圏広域地方計画協議会

九州圏の将来像の実現に向けた5つの戦略とそれを支える12のプロジェクト

1. アジアゲートウェイ機能の強化

- ① アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト P2
- ② 国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト P3

2. 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

- ③ 九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト P4
- ④ 九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト P5

3. 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

- ⑤ 九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト P6
- ⑥ 高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト P7

4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

- ⑦ 九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト P8
- ⑧ 都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト P9
- ⑨ 離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト P10
- ⑩ 九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト P11

5. 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全

- ⑪ 巨大災害などへの対応力の強化プロジェクト P12
- ⑫ 環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト P13

1. アジアゲートウェイ機能の強化

① アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト

- アジアの成長力を引き込み安定した経済成長を図るため、アジア経済や文化等の交流・連携の促進、来訪者の利便性の向上、その活動を支えるグローバル人材の育成と活用の促進等ハード・ソフトが一体となった取組を推進することにより、「ゲートウェイ九州」の形成を図る。
- アジアのゲートウェイとなる港湾、空港の機能強化及び港湾、空港へのアクセス機能の強化を図るとともに、各交通機関がそれぞれの特性に応じて役割を分担し、有機的かつ効率的な交通ネットワークを形成することにより、陸、海、空の交通結節機能の強化とモーダルシフトの促進等による輸送の効率化を図る。

■アジアとの国際交流・連携の一層の促進

【九州圏の経済活性化を実現する投資交流の促進】

- ・グリーンアジア国際戦略総合特区の取組促進
- ・アジアにおける国際的な交流拠点の形成、強化 等

【文化芸術等による創造的都市の形成】

- ・創造的な文化芸術活動等を支える都市環境の形成
- ・アジア規模での若者文化交流の促進及び拠点形成 等

【アジアの共通課題解決に向けた国際協力・貢献の推進】

- ・九州圏が有する技術・経験を活かした国際協力・貢献の推進 等

【国際的な産業・経済交流を支え、企業の競争力を高める高度人材の確保】

- ・「国連人間居住計画(ハビタット)」福岡本部への支援を通じた国際協力・貢献の促進
- ・アジア等からの留学生を始めとする海外の高度な人材の活用と地場企業への就職を促進 等

■総合的なゲートウェイ機能の強化

【港湾・空港における物流・人流の機能強化】

- ・国際海上コンテナターミナル及び国際物流ターミナルの整備による物流機能の強化
- ・国際フェリー・RORO船ターミナルの機能強化等の促進
- ・物流の更なる効率化を図るための日韓間におけるシャシの相互通行の推進
- ・クルーズ振興による地域の活性化を図るための国際旅客船ターミナル機能の強化
- ・航路の整備による船舶の大型化等に対応した物流の効率化、安全性向上
- ・福岡空港における滑走路の増設による輸送能力の強化
- ・既存空港の機能強化及び航空航路の充実等による交流連携機能の強化 等

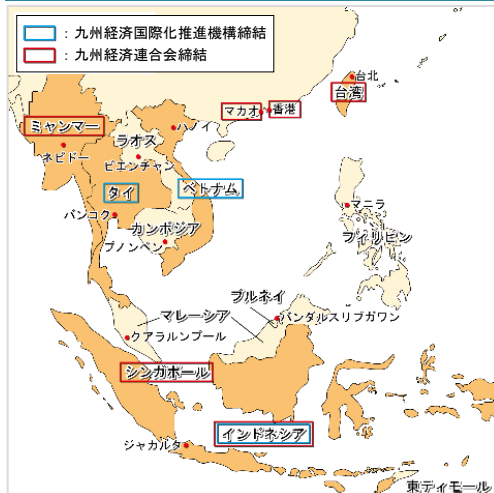
【港湾・空港へのアクセス機能の強化】

- ・港湾・空港へのアクセス道路や高規格幹線道路等の交通基盤の整備促進、結節の強化 等

【誰もが快適な旅行を実現する環境づくり】

- ・CIQ(税関・出入国管理・検疫)など、出入国手続きの機能強化
- ・案内標識・ホームページの多言語化等の九州圏が一体となった多様な情報発信の促進 等

ASEAN諸国とのMOU締結状況(事例)



提供)九州経済産業局

中国、韓国、台湾、香港などの11の国または地域と経済交流に関する覚書(MOU)を締結し、アジアとの経済交流を深化させている。

志布志港国際物流ターミナル(事例)

(志布志港)



提供)九州地方整備局

コンテナ輸送網の強化等による国際競争力の強化を図る。

グリーンアジア国際戦略総合特区の促進(事例)



出典)福岡県

環境を軸とした産業の国際競争力を強化し、アジアの活力を取り込みながら、アジアとともに発展することを目指す。

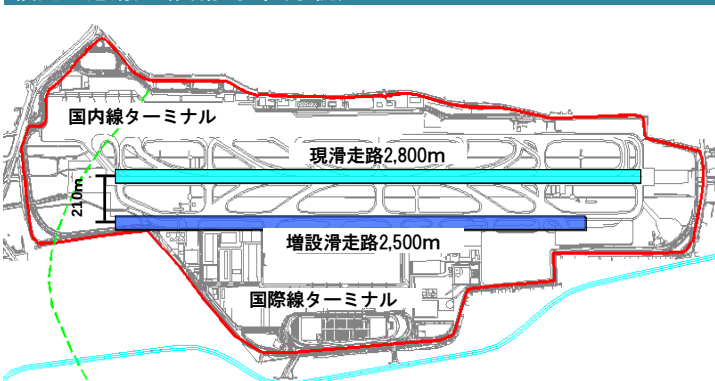
国家戦略特区「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」での主な取組(事例)



出典)福岡市

大胆な規制改革等を通じ、国内外から人と企業を呼び込み、起業や新規事業の創出等を促進する。

福岡空港滑走路増設事業(事例)



提供)九州地方整備局

慢性的に発生しているピーク時の航空機混雑を抜本的に解消するため、平成27年度から滑走路増設事業に新規着手し、着実に推進する。

24時間利用可能な北九州空港の貨物拠点化(事例)

東九州自動車道沿線の主要産業立地

北九州空港



出典)福岡県

出典)大分県、宮崎県HP、九州経済調査会資料

24時間利用可能な北九州空港の利点を活かした貨物拠点化を推進する。

下関港における日韓シャシの相互通行(事例)



提供)九州地方整備局

両国の公道を走行可能なシャシを活用することにより、さらなる物流の効率化を図る。

熊本市MICE施設整備の促進(事例)



出典)熊本市HP

国内外からの宿泊型交流人口の増加を促進し、地域産業の振興、国際化を図るため、MICE施設の整備を計画促進する。

1. アジアゲートウェイ機能の強化

② 国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト

- 近接するアジアや西瀬戸内海、豊後水道や関門海峡を介した中国圏、四国圏や近畿圏等の国内各圏域と、九州圏の各地域との交流・連携を強化する。
また、近畿圏、四国圏へのフェリーの新造船就航による輸送力強化などを促進する。
- 国際的・広域的に魅力ある食の先進地、一大観光地としての発展を目指し、九州圏の魅力を活かして、フードアイランド・観光アイランド九州の形成を促進し、各分野における九州ブランドの確立を促進していく。

■日本列島の各圏域との連携

- ・海を介した多様なネットワークの形成による交流・連携機能の強化
- ・関門海峡を挟み隣接する北九州・下関の一体的な発展に向けた日常的な交流・連携の促進
- ・複合一貫輸送ターミナルの整備による各圏域との連携の強化
- ・フェリー、RORO船の新造船就航、船内設備の充実等による交流・連携機能の強化 等

■フードアイランド九州の形成

- ・アジアへの輸出と食の安定供給を支える高品質で個性的な農林水産物の生産地づくり
- ・農林水産物販売促進事業を始めとする農林水産物の「味力」の発信 等

■観光アイランド九州の形成

【アジア・国内等における一大観光地づくり】

- ・成長するアジアマーケットの誘客を目指した「九州アジア観光アイランド総合特区」の促進
- ・複数市町村が連携して滞在型観光を実現する観光圏形成の展開 等

【国内外の新たな観光ニーズに対応した観光振興】

- ・広域観光ルートの形成等による新たな観光資源の創造
- ・九州圏が一体となった情報発信等の推進 等

【外国人観光客の更なる受入】

- ・訪日を強く動機づける「広域観光周遊ルート」の形成促進
- ・「道の駅」を活用した地域の海外発信拠点化の促進 等

【外国人が安心して旅行できる環境の形成】

- ・地方誘客の推進を図る外国人入国者の受入環境の整備・充実
- ・外国人入国者数2,000万人の受入環境整備 等

■クルーズ船誘致促進や受け入れ体制の整備

- ・世界を巡る外航クルーズ船の寄港地における広域的な寄港誘致活動
- ・クルーズ船の大型化に対応した既存施設等における受け入れの円滑化
- ・より質の高いラグジュアリークルーズ等、新規需要の開拓促進
- ・みなとオアシス等を活用した外航クルーズ客に対する賑わい空間の提供 等

関門連携共同宣言(事例)



出典)下関市HP

関門海峡と自然・歴史・文化遺産を共有する下関市と北九州市は、関門地域のよりよい都市環境を創造するため、「関門の5連携」に積極的に取り組んでいる。

瀬戸内・海路ネットワークの促進(事例)



出典)瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会事務局

瀬戸内の各地域が一体となり、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図る。

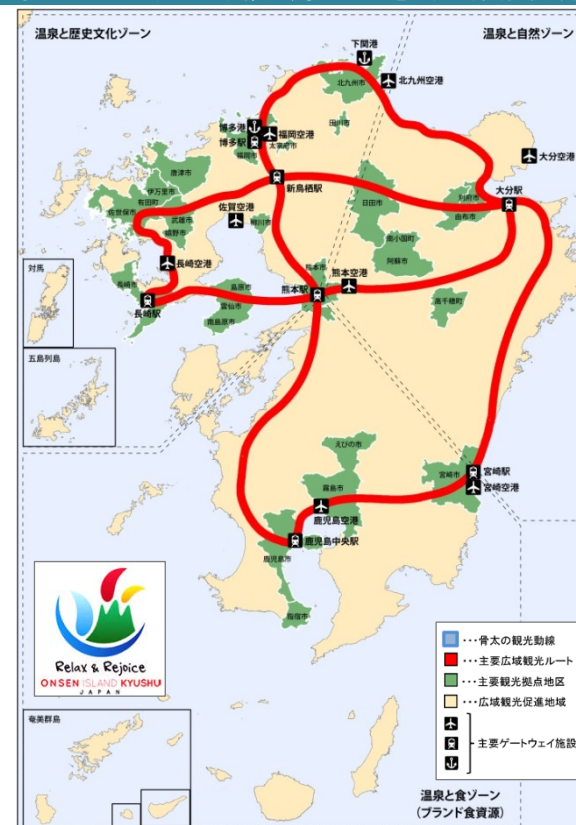
ながさき「食の魅力」総合発信事業(事例)



提供)長崎県HP

ホテル・高級料飲店をターゲットとした店舗対策やメディアPRにより、長崎県産品の魅力を総合的に発信し、県産品のブランド化につなげる。

「温泉アイランド九州 広域観光周遊ルート」形成計画概要(事例)



提供)九州運輸局

全国一の温泉源泉数と湧出量を誇る温泉を始め、九州7県の実・食文化、歴史・文化資源など多様な魅力を楽しむ広域観光周遊ルートを形成する。個人旅行者(FIT)を主なターゲットと位置づけ、韓国、台湾、中国、欧州等の各海外市場に対して九州一体で誘客していく。

複合一貫輸送ターミナル整備事業(事例)



提供)九州地方整備局

北九州港、唐津港、中津港、大分港等において、岸壁、航路等の複合一貫輸送ターミナルの整備を推進する。

オリンピック・パラリンピックに向けた外国人入国者の受け入れ環境の整備(事例)



ディスプレイの設置例

食材ピクトグラムの例

出典)国土交通省観光庁HP

「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針(観光施設・宿泊施設・飲食店編)」や、「外国語メニュー作成支援WEBサイト」等を活用し、各宿泊施設・飲食店が表示・標識等について主体的に取り組むを進める。

外国人個人旅行者へむけた二次交通環境整備事業(事例)



無料の公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備や多言語表示等により、個人旅行者(FIT)が周遊しやすい環境を整備する。

出典)(一社)九州経済連合会

外航クルーズ船の寄港誘致(事例)



クェンタム・オブ・ザ・シーズ
(168,666トン・乗客定員4,974人)

世界を巡る外航クルーズ船の誘致促進や受け入れ体制の整備を促進する。

出典)熊本県

2. 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

③ 九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト

- 九州圏に活力をもたらす交流・連携を促進するため、九州各県の自然を活かした広域連携などにより、九州圏の魅力を発掘し、一層の発展を促す。
- 九州圏の豊かな自然環境、歴史・文化、食文化等の地域資源を広域的に結びつけ、国際的・広域的に魅力ある一大観光地としての発展を促す。
- まちづくりと一体となった水辺空間の整備・利活用や、インフラを新たな観光資源とした地域活性化の推進を図る。
- 循環型的高速交通体系整備を始めとした交通ネットワークなどの形成による交流・連携の促進を図る。

■九州固有の自然環境、歴史、文化、風土や水、景観等を活用した交流・連携の促進

【恵まれた地域資源を活用した個性的で魅力ある地域づくり】

- ・広域的な連携・交流による地域づくり
- ・九州圏の豊かな自然環境、歴史・文化、食文化等の地域資源を広域的に結びつけることによる魅力ある一大観光地としての発展促進
- ・地域資源を発掘・活用した個性あふれる観光地づくりの発展
- ・地域資源を活用した全国でも先導的な地域づくりの推進 等

【地域への愛着を醸成し、域外との交流促進にもつながる地域づくり】

- ・世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」等の保全・活用による地域活性化の促進
- ・九州圏を舞台とした国際イベントの推進
- ・歴史的な建造物等を保存・活用した地域づくり
- ・地域の個性ある景観形成による魅力ある地域づくり
- ・水辺空間の整備・利活用
- ・インフラを新たな観光資源とした地域活性化の促進
- ・海洋・島しょ等を介した九州西岸地域の交流・連携機能の強化 等

■交通ネットワーク等の形成による交流・連携の促進

【観光地へのアクセス等を支える交通基盤の整備】

- ・港湾、空港、アクセス道路等の整備推進
- ・新たな交通システムの導入による輸送の効率化
- ・旅客施設のバリアフリー化・観光地への誘導案内の強化 等

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全活動(事例)



出典)鹿児島市HP

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用により地域活性化を促進する。

鴻臚館跡整備基本構想・基本計画(事例)



鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩CG画像

提供)福岡市

「国史跡鴻臚館跡」を適切に保存し、鴻臚館の特徴を活かした整備・活用を促進する。

九州観光プロモーション派遣団によるトップセールス(事例)



提供)九州運輸局

九州観光推進機構と各県の知事が連携し、観光プロモーションのトップセールスを実施している。

バスロケーションシステムの活用(事例)



提供)福岡空港

福岡空港内では、バスロケーションシステムを活用した乗り継ぎ情報を配信している。

九州オルレ唐津コース(事例)



提供)九州観光推進機構

九州オルレは韓国済州オルレの姉妹版であり、九州の美しい風景やトレッキングに適した山岳を巡る15コースを整備している。

ひむか神話街道(事例)



沿線には天孫降臨や日本書紀、古事記にまつわる神話や平家落人伝説の舞台があり、神楽などが残されている広域観光ルートである。

出典)宮崎県HP

2. 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

④ 九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト

●九州圏の域内循環を活性化するため、ネットワーク基盤の整備を進めていく。このため、高規格幹線道路などの必要な整備や、九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備、九州新幹線駅から周辺地域への公共交通利便性の向上に向けた二次・三次交通等の整備を図る。

■九州圏域内循環を活性化するネットワークの整備推進

- ・九州圏内の交流・連携を促進する高規格幹線道路等の必要な整備の推進
- ・九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)着工区間の着実な整備
- ・九州新幹線の整備を見据えた魅力ある観光・周遊ルートの形成
- ・九州新幹線駅から周辺地域への公共交通利便性の向上を図る二次・三次交通の整備促進
- ・新幹線駅から直接交流が可能となる近畿以西の主要都市をターゲットとした取組
- ・今ある道路の更なる機能向上及びITS(高度道路交通システム)等を活用した渋滞緩和対策の推進
- ・鉄道駅等の交通結節点の改善及び都市圏道路、環状道路等の整備による都市内交通の円滑化
- ・地方鉄道の存続・再生、広域的・幹線的なバス路線の維持等による地域間移動の利便性の向上
- ・各都市圏におけるターミナル施設等による公共交通の利便性の向上及び利用の促進 等

東九州自動車道の早期開通(事例)



佐伯IC～蒲江IC 間開通

提供)九州地方整備局

東九州を始め、九州全体の産業・経済・文化の一体的浮揚を図るため、東九州自動車道の整備を促進する。

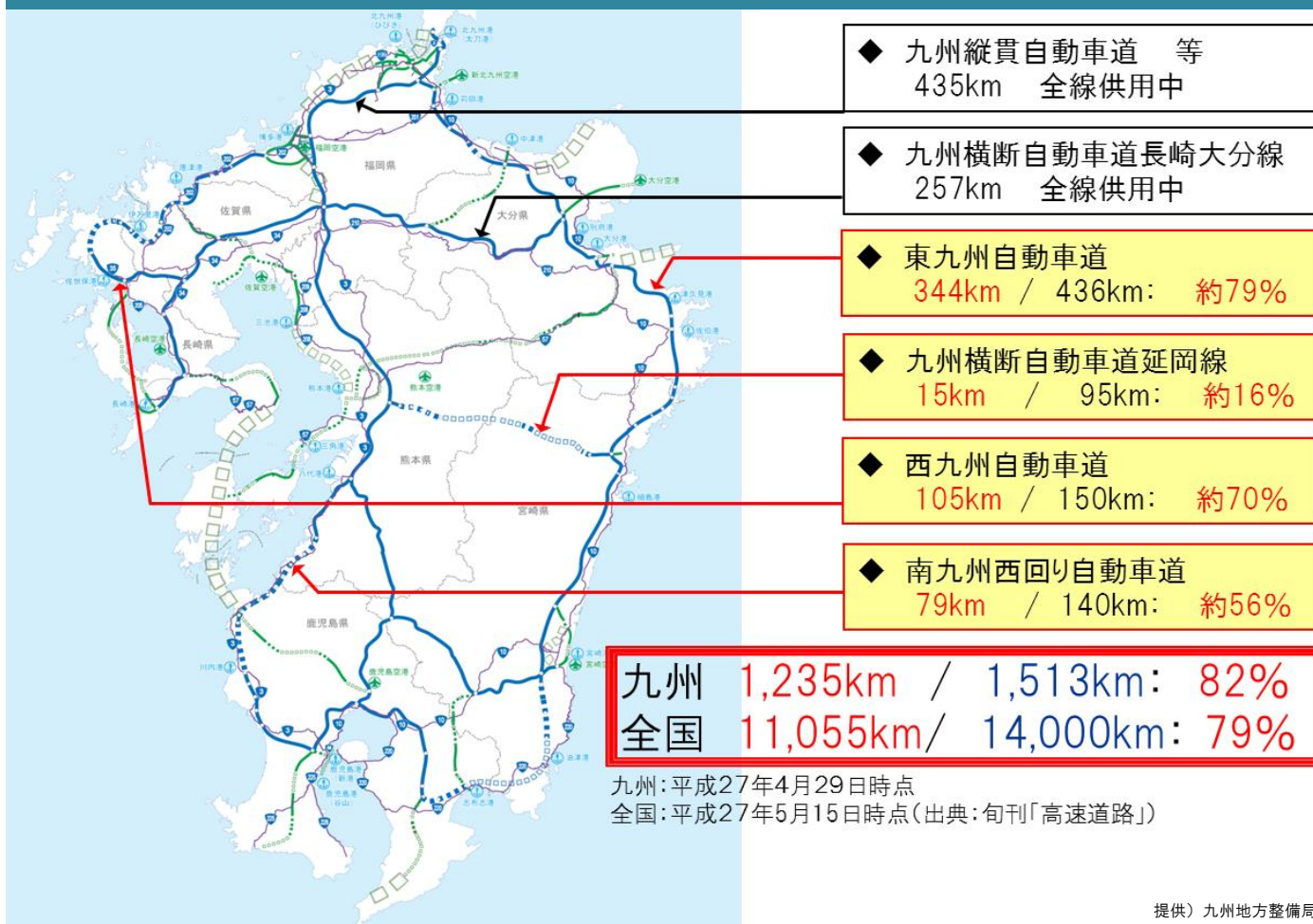
長崎駅周辺の完成イメージ図



出典)長崎県

長崎駅周辺地区に新幹線と在来線の鉄道施設の受け皿を整備し、交通結節機能の向上を図る。

九州圏の高速道路の整備状況(事例)



九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備状況図



平成24年6月29日に武雄温泉・長崎間工事実施計画が認可され、着工日(平成24年8月)から概ね10年後に完成予定である。

3. 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

⑤ 九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト

- 九州圏が我が国経済の牽引的役割を果たし、併せて地域の自立を実現していくため、アジアのゲートウェイ機能を十分に活かしつつ、これまで培われ集積された技術など九州圏の強みを活かした戦略的な産業基盤の強化を促進する。
- 自動車産業や半導体産業等の既存の基幹産業は、次世代自動車、航空機産業や半導体産業の新分野への展開等、新技術へシフトしながら更なる発展を図る。
- 九州圏が長期的に持続的な成長を図るため、政府が進める規制緩和などにより成長が見込まれるエネルギー、医療・ヘルスケア・コスメ、農林水産業、観光の産業分野や、次世代産業としてサービスロボット、情報コンテンツ産業等の育成に向けた戦略的な取組を促進する。

■自動車関連産業の競争力強化

・次世代自動車の開発・生産拠点の構築や普及する環境整備の促進 等

■半導体関連産業の新分野進出

・九州圏で培われた半導体技術を活用した新産業分野への展開の促進 等

■造船・素材産業の競争力強化

・素材系産業の高度化、新産業分野への展開 等

■エネルギー環境分野の振興

・再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを活かした産学官連携による産業集積拠点の形成 等

■医療・ヘルスケア・コスメ分野の振興

・東九州メディカルバレー構想特区等による医療機器産業の育成・振興、海外展開の促進
・ジャパン・コスメティックセンターを中心とした化粧品関連産業の拠点形成 等

■バイオ関連産業の育成

・九州地域バイオクラスター推進協議会における国内外の支援機関と連携促進 等

■農林水産業分野の海外輸出促進

・アジア各地へのビジネスマッチング等による地域産品の販路拡大等の取組促進 等

■第二期九州観光戦略の実行による観光産業の発展支援

【九州圏におけるブランドイメージ戦略の推進】

・魅力ある観光地「九州」のイメージづくり 等

【九州圏における来訪・滞在促進戦略の推進】

・広域観光ルートを周遊しやすい環境づくり 等

【九州圏における観光インフラ整備の推進】

・観光人材の育成 等

■成長産業分野の振興

【ロボット産業の育成】

・次世代のサービスロボットの実用化・市場創出の促進 等

【情報・コンテンツ産業の振興】

・コンテンツ産業を担う創造的な人材の育成 等

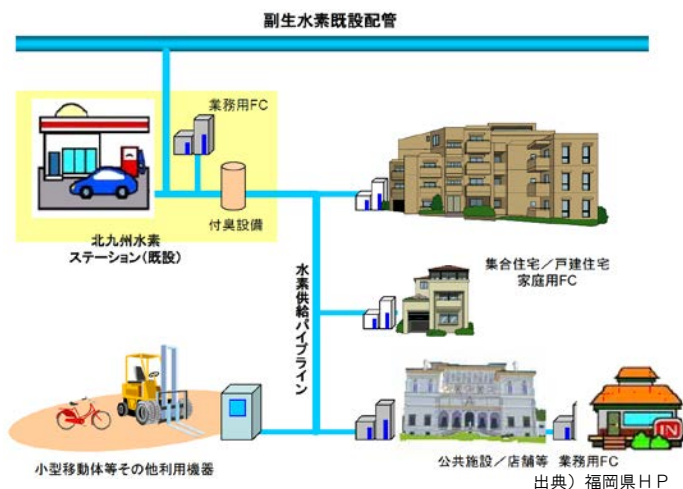
【航空宇宙産業・海洋関連産業の育成】

・地域特性を活かした航空宇宙産業、海洋関連産業の振興 等

【成長期待産業の育成に向けた高度な基礎技術の集積】

・特徴的な先端基礎技術等の研究開発拠点の整備等の取組 等

北九州水素タウンの整備(事例)



工場で発生する水素をパイプラインで市街地(水素タウン)へ供給し、燃料電池を使った水素発電、給湯を行う等、水素エネルギーを基盤とするモデルタウンを構築する。

東九州メディカルバレー構想特区の拠点(事例)



出典) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 H.P.

東九州地域において、産学官が連携を深め、医療分野でアジアに貢献する地域を目指している。

生活支援ロボットの開発(事例)



出典) ロボット産業振興会議

医療・介護・生活支援分野のロボット開発(事例)



出典) ロボット産業振興会議

既に集積しているロボット産業との産学官連携による先進的な医療・介護・生活支援ロボットの開発を進めている。

オール九州農産品物グルメ&トレードフェア(事例)



出典) 大分県

九州7県の生産者・企業が一同に介し、販売促進フェアの開催や国際的な商談会への共同参加等、輸出の促進を図っている。

3. 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

⑥ 高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト

- 農林水産物や食品の輸出拡大等、農林水産業や地域産業の新たな展開を拡大するため、農林水産業の基盤整備などによる経営・生産基盤の強化、農業経営の法人化、意欲のある農林水産業の担い手の育成・確保、企業の農業への新規参入等を総合的に促進する。
- 農林水産業の更なる魅力の増大を図るため、農産物の加工や道の駅等を活用した直売の取組、6次産業化の推進などによる農業経営の安定化に向けた取組を促し、九州ブランドの育成・強化を図る。
- 我が国でも一大産地の地位を誇る家具や窯業等の伝統産業の振興を図るため、伝統工芸品の地域ブランド化、消費者ニーズの多様化に対応したデザイン・新技術の導入、伝統技術の応用や高度化を促進するとともに、産地ブランド商品の知名度の向上と販路拡大を促進する。さらに、産地ブランドづくりを促進するため、地域団体商標の活用などを促すとともに、生産者が流通・販売環境までを把握することで、消費者などの評価を高める産地づくりを促進する。

■九州農業の成長産業化に向けた協力・連携

- ・「九州農業成長産業化連携協議会」や「九州観光推進機構」等の取組による販売、加工、輸出等の拡大
- ・アジア諸国や拡大するハラル市場など輸出拡大に向けた取組促進 等
- ・国際バルク戦略港湾の志布志港における安定的かつ効率的な海上輸送網の形成

■農林水産業や地域産業における九州ブランドの育成

【アジアにおける新たな市場開拓】

- ・海外市場における販路拡大 等

【付加価値を高める九州ブランドの確立】

- ・環境との調和に配慮した農林水産物の生産地の形成
- ・産地ブランドづくりの推進 等

【輸出先での品質の確保】

- ・生産から流通・販売までの一貫した食の安全・安心対策の推進
- ・輸出先における品揃えや食品鮮度の確保 等

■ICT(情報通信技術)を活用した産地直送通信販売の展開

- ・ロボット技術やICTを活用したスマート農業の促進
- ・生産・流通システムの高度化等の促進 等

■農林水産業や地域産業の新たな展開

- ・意欲のある農林水産業の担い手の育成・確保、企業の農業への新規参入等の総合的な促進
- ・農業経営の法人化及び担い手に対する経営所得安定対策の促進
- ・農林水産業の6次産業化の促進 等

■農業の持続的発展、経営・生産基盤の強化

- ・農業競争力強化のための農地の大区画化、汎用化 等

農林水産品の輸出促進(事例)



出典) 九州農政局

九州農業成長産業化連携協議会及び日本貿易振興機構は、香港(H25)、シンガポール(H26)において現地バイヤーを招き、九州産農水産物・食品の輸出商談会を九州全体の取組として開催している。

農業の第6次産業化(事例)



出典) 鹿児島県

ハラルフードの海外展開と国内販売の拡大に取り組んでいる。

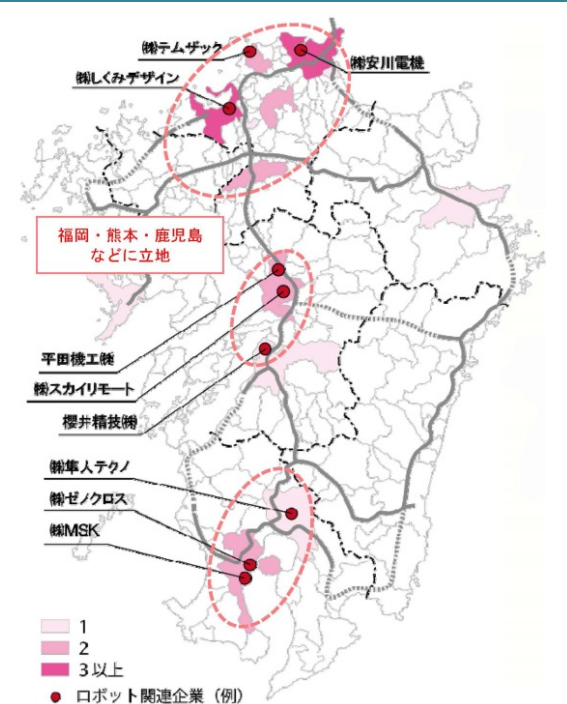
九州地域6次産業化推進会議(事例)



提供) 九州農政局

商品開発に必要な専門家の派遣、市場調査や試作への支援、展示商談会、試験販売会の開催を推進している。

ロボット関連企業の立地状況(事例)



出典) 「九州のビジネス環境」九州経済産業局

九州に集積しているロボット技術等を活用し、医療・介護・生活支援分野のロボット開発に重点的に取り組んでいる。

木材メーカー職員による販促活動(事例)



提供) 大分県

林業の販路拡大に向けて、木材生産コストの縮減、安定した製材品の質や量の確保、トップセールス売専任職員(木材メーカー)の配置を実施している。

4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

⑦ 九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト

- 九州圏には、県庁所在都市など高次都市機能を有し、研究開発、産業等競争力強化や海外事業展開等の機能の集積がある「基幹都市」が分布し、それぞれ広がりを持った基幹都市圏を有している。
- 基幹都市圏の高次都市機能がお互いに連携し、九州圏全体にわたる九州圏基幹都市連携圏を構成することで、九州圏の成長基盤となる。このため、基幹都市間の人や物の交流・連携を支える高速ネットワーク等の形成やサイバー空間の安全性の確保に取り組みつつ、ICTの利活用環境整備による情報の交流・連携の円滑化を図る。

■対流促進型圏土構造の極となる基幹都市圏の形成

【対流促進型圏土構造の極となる基幹都市圏の形成】

・福岡・北九州都市圏を中心としたアジア交流・連携広域都市圏の形成 等

【地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成】

・ブロック中枢都市・福岡その他の基幹都市における高次都市機能の向上
・高度な機能の連携の受け皿となる良好な市街地の形成 等

■人や物の交流・連携の原動力となるコンパクトシティの形成

【コンパクトシティの形成】

・広域的な都市的利便性を実現する魅力的な都市圏の形成
・中心市街地における都市機能の集約化の促進
・空き建築物等既存ストックの有効活用による都市機能の集約化の促進 等

【安全で快適なまちづくりの推進】

・都市防災、防犯機能の強化
・水と緑豊かで景観にも配慮した美しいまちなみや都市景観の形成 等

■九州北部地域・九州縦断地域における基幹都市連携

【先進的な国際交流・連携の一層の促進】

・文化・学術・研究面の交流・連携の促進による国際色豊かな一体的連携の促進
・高次都市機能の広域的な享受、産業連携の強化等を目指した交流・連携の一層の促進 等

【九州新幹線の整備による交流人口・ビジネス人口の増加、商圈・通勤圏等の拡大】

・九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備効果の発現 等

■東九州地域・九州横断地域のネットワークによる基幹都市連携

・交通体系や物流拠点の形成等によるポテンシャルを活かした新たな展開の機会創出 等

■基幹都市間的高速ネットワーク等の形成による連携強化

・ETC等のITSや既存高速道路ネットワークの有効活用を図るスマートインターチェンジの整備・活用の促進 等

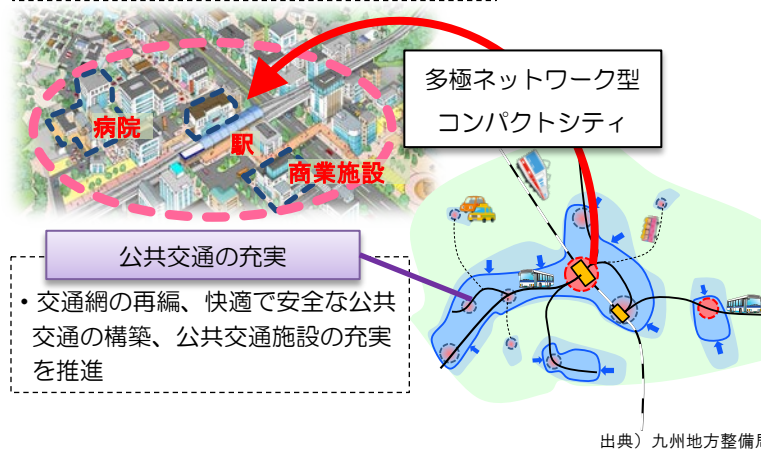
■ICTの利活用環境の総合的な整備

・地理的条件の厳しい地域を中心とした地域情報基盤の整備促進
・ビッグデータ・オープンデータの活用による産業の生産性向上 等

コンパクトなまちづくり(イメージ図)

生活サービス機能の計画的配置

- ・医療、福祉、商業施設等をまちなかで計画的に配置



長崎駅周辺土地区画整理事業(長崎市)(事例)



長崎駅前東口広場周辺イメージ

出典)長崎県

長崎駅前広場などの基盤整備と土地利用の転換・有効利用を図り、国際観光都市長崎の玄関口にふさわしい都市拠点を形成する。

空き建築物等既存ストックの有効活用(事例)



空き店舗(改装前)

デザイナーやクリエイター向け
インキュベーション施設(改装後)



リノベーションの手法を用いた基幹都市における空きビル等の有効活用による、街なかの賑わい創出が進められている。

出典)北九州市

スマートインターチェンジの整備(NEXCO、都城市、宮崎県)(事例)



山ノ口スマートIC完成予想図

出典)都城市HP

高速道路へのアクセス性を高め、地域と一体となった拠点の形成を支援するため、スマートインターチェンジの整備を進める。

4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

⑧ 都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト

- 都市と農山漁村等の交流と相互貢献は、基礎的な生活支援サービスを有する生活中心都市と、集落地域等により構成される基礎生活圈と基幹都市または基幹都市を補完する都市機能を有する拠点都市により一定のまとまりがある「都市自然交流圏」で行われている。
- 都市と農山漁村を人々が行き交う「田園回帰」など、農山漁村の活性化につながる動きもみられるため、流域や経済社会のつながりなど、一定のまとまりがある圏域において、拠点都市の機能の充実や都市自然交流圏の形成を図っていく。
- 基礎生活圈においては、生活中心都市と集落地域がネットワークで構成される基礎的な圏域において、暮らしやすい生活環境の保全と生活支援機能の維持を目指す。
- 拠点都市や基礎生活圈の形成に当たっては、条件が整うことにより、連携中枢都市圏構想や定住自立圏構想の活用も可能となる。

■都市自然交流圏の拠点となる拠点都市の都市機能の充実・強化

【拠点都市における都市機能の充実・強化】

- ・地域の自立に向けた拠点性の向上
- ・都市内交通の円滑化 等

【都市自然交流圏間における相互連携の活性化】

- ・都市自然交流圏間を連結するための交通基盤の整備 等

【拠点都市におけるにぎわいの再生】

- ・拠点都市のにぎわいの創出
- ・公共交通機関の利便性の維持・向上 等

■水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流圏

- ・都市と農山漁村の交流や魅力ある二地域居住、定住環境の形成等の促進
- ・農山漁村・農林水産業体験、地域特産物の提供、自然景観の保全等
- ・「食育アイランド九州」による農山漁村の魅力に係るイメージの発信 等

■都市自然交流圏を支える交流基盤の整備

- ・地域公共交通の改善 等

■基礎生活圈における基本的な医療・福祉、教育等の生活支援機能サービスの確保・充実

【安心して子どもを生み育てることができる環境の形成】

- ・地域社会の子育て支援体制の充実・強化
- ・女性の再就職や起業等のチャレンジに関する総合的な支援 等

【誰もが安心して暮らせ、活動できる生活環境の形成】

- ・医療・福祉の充実
- ・誰もが安心して暮らせる居住環境の形成 等

■地域の活動を支える生活道路など基本的なインフラの維持・整備

- ・中山間地域等における定住基盤の整備
- ・日常生活に必要不可欠な生活交通の確保 等

■農村地域資源の維持・管理

- ・多様な主体の連携による農村地域資源の維持・管理 等

都市自然交流圏間をつなぐ幹線道路の整備(事例)

中山間地域総合整備事業

整備前



整備後



出典) 佐賀県

佐賀県では生活環境の整備を促進し、都市にはない農村景観の良さを再認識することで、農村が安らぎの場となるような空間形成を目指しており、快適で安全・安心な農村づくりとして集落地内道路や集落地内水路の整備に取り組んでいる。

「いつでも子育てほっとライン」相談風景(事例)



提供) 大分県

大分県では子ども子育てに関するあらゆる相談に24時間365日対応するため「いつでも子育てほっとライン」を開設している。

地域公共交通確保維持改善事業(乗合タクシー)(事例)



出典) 九州運輸局

多様な関係者の連携により、地域公共交通の確保、維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取組を実施している。

都市と農山漁村の交流の促進(事例)



子ども体験学習

出典) 九州農政局

都市農村共生・対流総合対策交付金、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金等による都市と農山漁村の共生・交流等の促進を図る。

4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

⑨ 離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト

- 離島・半島、中山間地域等の地理的制約が厳しい地域における都市機能と生活支援機能、就業機会等の一定の基礎条件の確保を図り、産業振興や一定の社会的サービスの維持を可能とする豊かな定住環境の形成を図る。
- 今後、人口減少や高齢化が進む中、住民の生活を守り、活力のある地方を維持していくため、日常生活に必要不可欠な生活支援機能や医療等の社会的サービスの確保を図るとともに生活交通などの移動手段の確保や都市部へのアクセス条件の改善を図る

■ 地理的制約を克服する生活基盤の維持・向上

【地理的制約等の厳しい地域における定住環境の形成】

- ・離島・半島、中山間地域等における定住基盤の整備
- ・離島・半島、中山間地域等における継続的な農業生産活動を行う農業者等への支援
- ・地理的制約の厳しい地域における防災性の向上 等

【高齢者等が健康で生きがいを持てる生活環境の形成】

- ・高齢者、障害者等の就業機会確保のための環境整備 等

【人口の減少・高齢化が著しく、維持・存続が危ぶまれる集落への対策】

- ・集落存続に向けた対策の推進
- ・ICTを活用したまちづくりや無料Wi-Fi環境の整備等の促進
- ・離島・へき地の医療拠点病院や診療所の整備・運営など医療サービス等の充実 等

■ 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

- ・国境・外洋離島等における一層の支援の検討
- ・都市部との定期的な交通アクセスの確保
- ・離島地域における社会的サービス等の確保 等

■ 地域資源を活かした地域活性化の促進

- ・地域固有の自然環境、景観の保全、伝統・生活文化の継承等の促進
- ・農林水産業等の基幹産業の振興や離島体験・滞在型の離島観光の促進 等

障害者就業・生活支援センターの指定、業務支援（事例）



福祉施設商品の【ブランドロゴ】

提供)長崎県

障害者就業・生活支援センターに生活支援担当職員を配置し、障害者の就業や社会生活に必要な支援を行う。

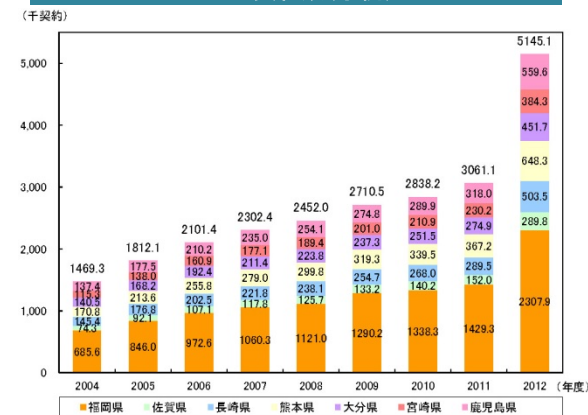
ふるさとチャンネルの画面（イメージ図）



出典) 長崎県

長崎県が独自に開発した高齢者が容易に操作できる画面・サービスを導入することで、地域情報を取得できる実証実験を行っている。

ブロードバンドサービス契約数（事例）



提供) 九州総合通信局

九州圏のブロードバンド利用可能世帯率は100%、普及率も90.1%と急速に伸びてきており、超高速ブロードバンドの利用可能世帯率も98.4%と高い整備率となっている。

離島航路(博多～杵岐～対馬)(事例)



出典) 九州運輸局

厳原港、名瀬港、和泊港等において、岸壁等の離島ターミナル整備により離島航路の維持・拡充を図る。

空き家の再生講習会(事例)



出典) 鹿児島県

鹿児島県では、誰もが安心して暮らしていける地域コミュニティづくりのための基盤づくり(鹿屋市NPO法人隣の会)、空き家・耕作放棄地の再生による交流の場づくり(枕崎市NPO法人子育てふれあいグループ自然花)など5つの事業を実施している。

4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

⑩ 九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト

- 九州圏において、今後新たな未来を創造するため、文化・知識集約化による九州圏の活力を担う人材の育成・確保など、「人材の地産地活」に向けた取組を促進する。
- 労働人口の減少が懸念されることから、多様な人材の活躍を促進し、女性、高齢者への就業機会の拡大を図る。
さらに、各自治体において策定する「まち・ひと・しごと総合戦略」等を促進し、着実に実行することにより、人材の定着を図る。

■文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成

- ・地域の発展の原動力となる大学、研究開発機関等の高度な集積環境の形成
- ・大学等における地方創生の人材育成を行う学部設置、カリキュラム導入の促進
- ・大学等の技術シーズを産業化に向けて展開するための取組 等

■地方創生人材の「地活」の促進

- ・時代の潮流変化に対応した人材の育成・確保
- ・専門的・技術的分野の人材の育成
- ・産業教育の活性化、インターンシップ(就業体験)の促進 等

■地方移住、二地域居住等の受け入れ環境づくり

- ・魅力ある二地域居住・定住環境の受け皿となる滞在型市民農園や空き家プロジェクト等を活用した住宅の整備等の促進
- ・UIターン者のニーズに応じた住宅・雇用環境の整備促進 等

■女性・高齢者・障害者の活用や地域おこし協力隊等の外部人材の活用

- ・女性が子どもを安心して生み育てられる環境づくりの促進
- ・高齢者・障害者の就労に向けた支援
- ・地域おこし協力隊等の外部人材の活用促進 等

■多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

- ・多様な活動主体を基軸とした着地型観光ビジネスやグリーンツーリズムの推進
- ・多様な主体の参加による先導的な地域づくりの推進
- ・身近な公共空間におけるアダプト・プログラム等による美化活動の推進 等

■高齢者が活躍できる「70歳現役社会」づくりの促進

- ・70歳現役応援センターによる就業・社会参加支援
- ・年金プラスαのシルバーライフの実現促進
- ・高齢者の能力を活かした地域・社会活動への参加の促進 等

九州大学学術研究都市構想(事例)



出典(公財)九州大学学術研究都市推進機構

福岡都市圏西部に統合移転される九州大学を核に、知の時代21世紀に相応しい新しい学術研究都市を創造し、アジアの知的拠点をを目指す。

都市農村交流(事例)



提供)鹿児島県

鹿児島県では「共生・協働の農村づくり運動」を展開し、農村集落の再生、都市住民との連携による「新たなむらづくりの形成」、農村環境の保全や耕作放棄地の防止による「むらづくりの維持・発展」の取組を推進している。

地域おこし協力隊員による古民家修復作業(事例)



出典)対馬市HP

長崎県では、地域外の人材も活用した地域づくりの推進を図るため、「地域おこし協力隊等の外部人材の活用促進」を推進している。

70歳現役社会づくりの促進 (実施主体:九州全県(沖縄県を含む)、山口県、 経済団体等)(事例)



70歳現役応援センター

出典)福岡県

新しい長寿社会の先進モデルとなる70歳現役社会を実現するため、九州・山口が一体となって70歳現役社会づくりに取り組む。

5. 九州圏の安全・安心の確保と 自然環境・国土の保全

⑪ 巨大災害などへの対応力の強化プロジェクト

- 九州圏は、全国の中でも先駆けて異常気象の増加などにもなう自然災害の影響を受けることが懸念される圏域である。増大する様々な自然災害の発生リスクに
対して、柔軟に対応できる圏域の形成を目指し、被害を未然に防止するためのハード対策とソフト対策を適切に組み合わせ、国土強靱化の取組を推進する。
- 地域の経済社会活動、安全・安心を支えるインフラの必要な維持管理・更新等の老朽化対策を進める。東日本大震災の教訓から、減災の視点も重視した災害に
強い地域づくりを推進するとともに、広域連携体制及び支援の強化やパンデミックに対する防疫体制の連携強化を促進する。

■防災・減災対策の強力な推進

【災害に強い地域づくりの実現に向けたハード対策の推進】

- ・防災・減災に資する施設の整備の推進
- ・火山噴火、豪雨等による土砂災害防止対策の推進 等

【減災の視点も重視したソフト対策の強化】

- ・平常時からの災害予防・減災、事前準備等の対策の強化
- ・発生時における災害応急対応に向けた対策の強化
- ・災害発生後における情報共有、災害復旧・復興に向けた対策の強化 等

■災害に対する広域連携体制及び支援の強化

【安全で安心な暮らしを支える防災・危機管理体制の機能強化】

- ・TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣等による全国規模の広域支援の推進
- ・防災体制、危機管理体制における広域的な連携強化 等

【九州圏のどこに住んでいても、救急・高度医療を受けられる生活環境の形成】

- ・大規模災害時の対応における情報共有・連携の強化
- ・災害時・緊急時の救急医療における広域的な連携強化 等

■ネットワークの多重化・代替性確保等による災害に強い国土構造の構築

【災害・緊急時における公共施設等の機能維持・強化】

- ・災害・緊急時における拠点整備の促進
- ・代替性確保のためのミッシングリンクの解消、橋梁の耐震性向上、道路のり面の防災対策、
無電柱化の推進 等

【甚大な災害による経済的・社会的被害の軽減】

- ・大規模災害発生時におけるバックアップ機能や広域防災拠点の強化
- ・官庁・企業等の重要業務におけるBCPの策定促進 等

■インフラ長寿命化計画策定の取組

- ・インフラ長寿命化計画に基づく定期的なフォローアップ実施
- ・インフラ施設のメンテナンスに関わる人材の確保・育成 等

■パンデミックに対する防疫体制の連携強化

- ・家畜伝染病などパンデミックに対する防疫体制の連携強化 等

矢部川水系矢部川直轄河川激甚災害特別緊急事業(事例)



提供)九州地方整備局

激甚災害対策特別緊急事業により、堤防の安全性を向上させ、浸水被害の軽減を図る。

災害情報共有システム(Lアラート)の導入・利活用促進(事例)



出典)熊本県

災害情報を多様なメディアを通じて迅速に伝達できる災害情報共有システム(Lアラート)の導入と利用拡大を図る。

畜産関係車両の消毒現場(事例)



提供)大分県

迅速・的確な防疫対策に向け、消毒ポイントの設置・運営等について定期的に協議を行う。

砂防堰堤の整備(事例)



提供)九州地方整備局

TEC-FORCEの活動状況(事例) 緊急災害対策派遣隊 TEC-FORCE Technical Emergency Control FORCE



被災状況調査(八木地区)

提供)九州地方整備局

TEC-FORCE・災害対策用機械等の活用により、被災状況の調査・分析、復旧に向けた技術支援等を実施している。

簡易遠隔操縦装置(ロボQ)(事例)



出典)九州地方整備局HP

簡易遠隔操縦装置は、人の立ち入れない危険な場所の作業を安全でスピーディに行える装置であり、運用が進んでいる。

ドクターヘリの佐賀県との相互 応援(事例)



提供)長崎県

ドクターヘリに関する県相互の応援を開始している。

木造応急仮設住宅及び 「みんなの家」(事例)



出典)熊本県

応急仮設住宅を、木造の温もりが感じられる県産材を使って建設している。

土砂災害の被害を軽減するため、砂防堰堤の整備を行う。

⑫ 環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト

- 九州圏における環境・エネルギー分野での先導的な取組を更に発展させつつ、豊かな自然の保護や再生に取り組み、生物多様性の保全、自然共生社会の構築を図る。加えて、循環型社会及び低炭素型社会の構築に向けた取組を総合的に進め、持続可能な地域づくりを促進する。
- 環境リサイクル分野におけるごみや水処理に関する整備の強化を図る。

■先進技術を導入したエコアイランドの形成

- ・スマートコミュニティの促進
- ・エコタウン事業を中心とした環境調和型まちづくりの促進 等

■地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入

- ・太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、海洋エネルギー等の再生可能エネルギーの導入・普及促進
- ・バイオマス産業都市の構築、バイオマス燃料による地産地消等の促進 等

■エネルギーを効率的に利用する社会の実現

- 【産業・民生・運輸部門や都市構造等における総合的な省エネルギー対策の推進】
・水素エネルギー社会の実現を目指した取組の推進 等
- 【低炭素社会の実現に資するエネルギー供給構造の構築】
・電力等の安定供給と低炭素化の推進 等

■環境負荷の低い交通手段の促進

- ・ITS、モビリティ・マネジメントの促進
- ・都市部における公共交通機関、自転車利用環境の整備や促進 等

■美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり

- 【豊かな自然環境・景観の保全】
- ・ラムサール条約の登録湿地など、特に重要な地域の自然環境の保全、適切な利用等
 - ・貴重な自然環境や生態系等に被害を及ぼす外来種の防除の促進 等

【人と自然が共生した九州圏の形成】

- ・エコロジカル・ネットワークの形成(国際的な観点) 等

【自然環境保護の意識醸成】

- ・自然体験・環境学習等を行う場を創出するための取組 等

【国土管理、生態系の保全等に配慮した公共事業の実施】

- ・国土管理・環境保全に資する事業展開 等

■九州の環境に影響を与える外的要因への対応

- ・環境に影響を与える外的要因の対策促進 等

■我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成

- 【我が国でも先導的な循環型社会の構築】
- ・循環型社会の実現に向けた広域的な拠点を形成するための取組 等
- 【良好で持続的な水循環系の形成】
- ・閉鎖性海域の保全に向けた総合的な対策 等
- 【北部九州における安定的な水資源の確保】
- ・安定的な水資源の確保における広域的な連携強化 等
- 【公益的機能の発揮が期待される森林、農用地等の適正な管理】
- ・森林、農用地の適正な管理 等

【良好で持続的な水循環系の形成】

- ・閉鎖性海域の保全に向けた総合的な対策 等

【北部九州における安定的な水資源の確保】

- ・安定的な水資源の確保における広域的な連携強化 等

【公益的機能の発揮が期待される森林、農用地等の適正な管理】

- ・森林、農用地の適正な管理 等

